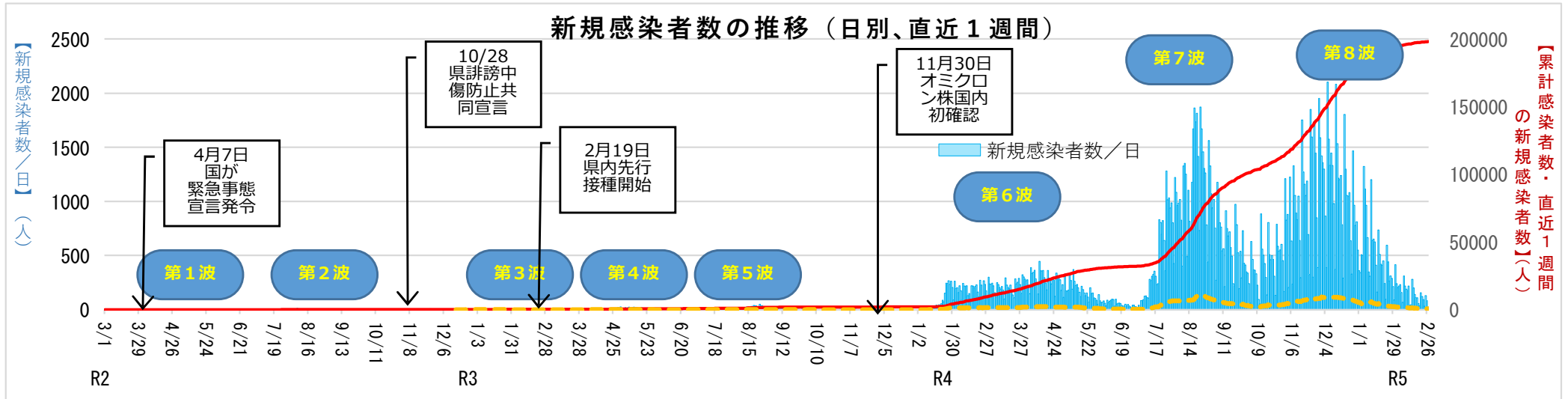


## 新型コロナウイルス感染症対策の振り返り(1/4)

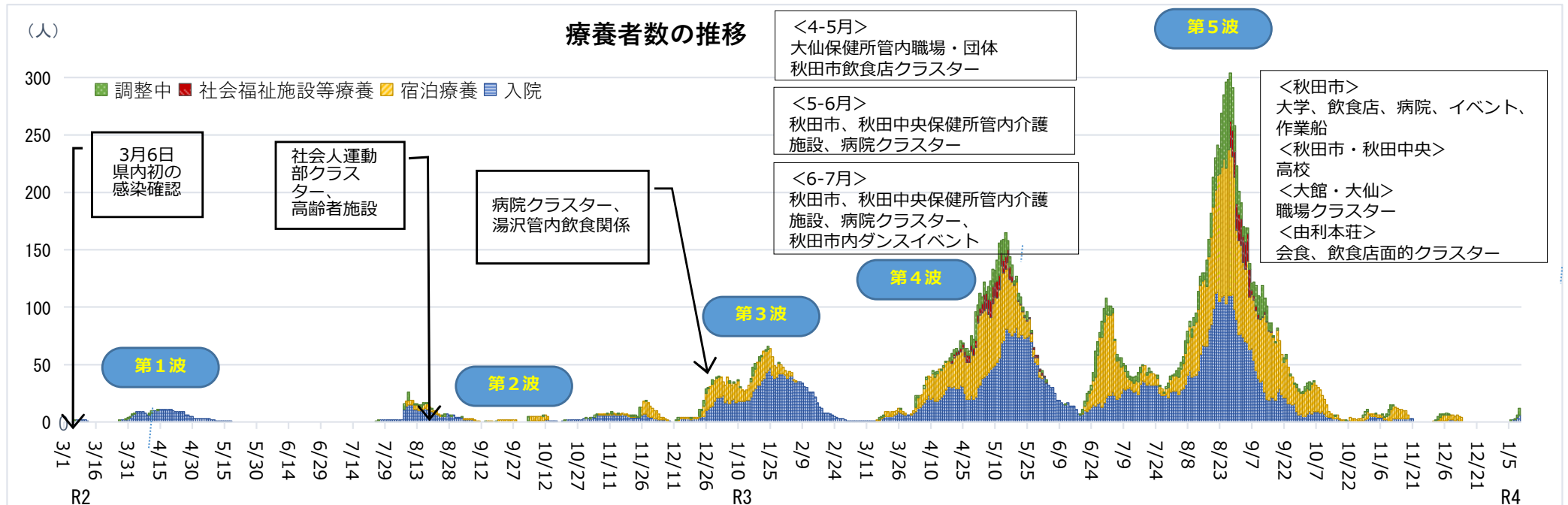


- 秋田県では、初の感染者が確認された平成2年3月から令和5年2月までの間に198,249人が感染した。(県民の5人に1人以上)。
- 医療提供体制は、入院受入医療機関(23医療機関273床)を病床確保計画に位置づけ、外来は診療・検査医療機関(324医療機関)を指定し、県ホームページで公開した。
- 令和2年3月、秋田県新型コロナウイルス感染症対策協議会を設置し、これまで13回開催して対策を協議した。なお、医療体制専門部会15回、検査体制専門部会は5回、合同部会は10回開催した(計43回)。

## 主なできごと

令和元年	12月31日	中国武漢市が病因不明の肺炎症例クラスターの発生を世界保健機構(WHO)に報告	第1波
令和2年	1月16日	国内初の感染公表(神奈川県・中国武漢市の滞在歴あり)	
	3月6日	秋田県内初の感染公表(クルーズ船乗客)	
	3月26日	秋田県新型コロナウイルス感染症対策本部設置(本部長 知事)	
	3月27日	秋田県新型コロナ対策LINE公式アカウント開設	
	3月30日	秋田県新型コロナウイルス感染症対策協議会設置	
	4月7日	国緊急事態宣言発令(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県、福岡県)	
	4月16日	国緊急事態宣言を全国に拡大(5月25日に解除)	

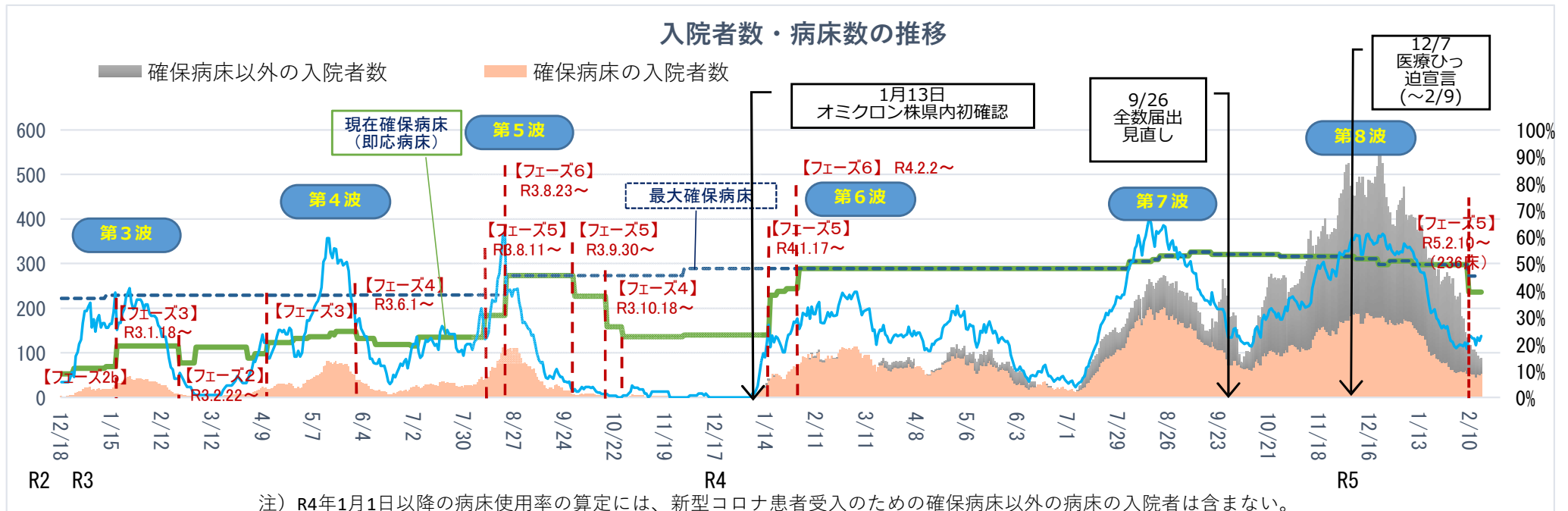
## 新型コロナウイルス感染症対策の振り返り(2/4)



- 第1波は海外、県外からの往来者。第2～5波では、飲食店、高齢者施設、医療機関でのクラスターが多発した。
- 第5波から療養先が見つからない「調整中」の者が増加した。

令和2年	5月14日	秋田県マスク300万枚配布（医療機関、高齢者施設等）	
	5月15日	帰国者・接触者外来設置（鹿角市、由利本荘市、R3度改称：地域外来・検査センター）	
	8月8日	秋田県宿泊療養施設稼働	第2波
	9月15日	秋田県診療・検査医療機関指定要領施行	
	10月28日	秋田県誹謗中傷防止共同宣言（20団体）	
令和3年	1月22日	A C O M A T（秋田県コロナ医療支援チーム）活動要領策定	第3波
	2月19日	県内ワクチン先行接種開始（JCHO秋田病院）	
	5月6日	秋田市飲食店無料PCR検査事業（～5月31日）	第4波
	8月19日	秋田県が秋田県立循環器・脳脊髄センターに中和抗体薬投与病棟確保要請	第5波
	8月24日	秋田港洋上風力発電作業船クラスター公表	

# 新型コロナウイルス感染症対策の振り返り(3/4)



- 令和4年1月、オミクロン株急拡大に伴い、自宅療養ゼロの方針を見直し、自宅療養者をケアする体制を導入した。

令和3年	11月30日	オミクロン株国内初確認	第6波
	12月24日	P C R 等検査無料化事業実施	
令和4年	1月13日	秋田県内初のオミクロン株確認公表 (秋田大学によるゲノム解析)	
	1月19日	自宅療養開始 (パルスオキシメーター貸出、食料品配付、健康観察の実施)	第7波
	4月1日	秋田県新型コロナウイルス感染症対策本部保健医療対策部設置	
	7月24日	リモート (保健医療対策部での) 積極的疫学調査開始	
	7月30日	県庁臨時発熱外来 (~7月31日)	
	8月11日	秋田県感染拡大警報発令/キット配付・陽性者登録センター稼働	
	8月13日	秋田市保健センター臨時発熱外来 (~8月14日)	
	9月26日	発生届対象者の見直し (総合案内窓口事業開始)	

# 新型コロナウイルス感染症対策の振り返り(4/4)

- 令和4年9月26日、発生届出対象者が見直され、65歳以上の者等に限定されたことを受けて、総合案内窓口を設置して相談機能を強化するとともに、届出対象外の患者を対象とした陽性登録を行う登録センターを設置した。
- 全国的に第8波は、感染する前から高齢者施設に入所している利用者が感染し、基礎疾患の悪化等の影響で死亡するなど、新型コロナが直接の死因でない事例も少なくなかった。

令和4年	12月7日	県独自の医療ひっ迫宣言（～2月10日）	第8波
	12月26日	診療・検査医療機関年末年始診療体制確保協力金要領策定（秋田県・秋田市）	
	12月31日	中央検診センター（秋田市）臨時発熱外来（1月2日にも実施）	
令和5年	3月13日	国によるマスク着用の個人判断導入	
	5月8日	感染症法の位置づけ変更（2類相当→5類）	

## 最近の新聞広告(令和4年)

7月22日

8月11日

9月26日

12月23日

8月9日

9月6日

11月23日